いちき串木野 街あるきMAP 冠岳

徐福について

今から約2200年前に秦の始皇帝より「不老不死の仙薬」を求める命を受けて、この地を訪れたとされる人物です。徐福は冠岳を訪れた際に、その景色の素晴らしさに感動し、自らの冠をその頂上に捧げたとされています。このことから、この地を「冠岳」と呼ぶようになったという説があります。

❶冠岳神社

冠岳熊野三所権現の1つで、祭神はスサノヲノミコト(クシケノミコト)です。このことが「串木野」の由来という説もあります。

❷冠嶽園

方士「徐福」を顕彰し、徐福の故郷である中国との友好交流の願いを込めて平成4年に作庭・開園された中国風庭園です。

❸望嶽亭と水鏡

❹蓮苑(れんえん)

湧水を利用した池などがあり、中国文化との交流の架け橋となることへの願いが込められています。毎年6月～8月には睡蓮や蓮の花が楽しめます。

年代橋

花川の下流から上流に向かって架かる10本の橋です。ひとつの橋を渡るごとに、徐福が不老不死を求めて訪れたとされる「霊峰　冠岳」に近づき、健康に年代を重ね、全ての橋を架かることで仙人のような長寿を得るという物語を表現しています。

❶徐福橋(10代橋)

徐福が冠岳に向かう過程で最初に渡る橋として、この世に生を受け、人生の旅立ちを意味しています。

❷仙人橋(20代橋)

仙人のような不老長寿になることを夢見て、100代橋の先、上流にある桃源郷を目指して渡っていきます。

❸昇竜橋(30代橋)

橋の欄干には二匹の龍をモチーフにしてあり、若者たちの成長を祈願しています。

❹蓮心橋(40代橋)

湧水を利用した池などがあり、中国文化との交流の架け橋となることへの願いが込められています。毎年6月～8月には睡蓮や蓮の花が楽しめます。

❺蓬莱橋(50代橋)

徐福が不老不死の仙薬を求めて、蓬莱の国に渡来した伝説から名付けられています。ちょうど50代という100歳の中間地点ということで花川の中間地点に掛けられています。

❻花川橋(60代橋)

冠岳神社への参拝の入り口として地元の人々の心にある神社の存在を尊重しています。

❼神師橋(70代橋)

冠岳神社と大師堂の「神」と「仏」を結ぶ橋です。日本の神仏習合の思想より名付けられています。

❽天寿橋(80代橋)

中国において80代は「天寿」を表しています。ここは云わば、人生の関門であり、これを越えることは仙人世界への入り口を訪れることとされています。

❾神仙橋(90代橋)

神仙とは不老不死の世界に住む仙人のことを指します。90歳代により仙人の域に達することを願って名付けられています。

❿雲天橋(100代橋)

聖域に至る橋として、彼岸に辿り着く通い路をイメージしています。また、この橋は中国における「雲の上には天があり、天の外には天がある」という無限思想を表現しています。